

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅡA (SeminarⅡA)		
ナンバリングコード	E21201	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 前期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002433	クラス名	小久保ゼミ
担当教員名	小久保 雄介		
履修上の注意、履修条件	商品企画の現場では、自ら高いアンテナを張り、様々なことに対して興味を持って取り組む姿勢が必要になります。受け身にならず、ぜひ自分から考え、行動するようにしてください。また、授業内で分析を行ったりまとめ作業などを行いますのでPCを準備しておいてください。チームで活動しますので、チームのメンバーでコミュニケーションをしっかりと取り丸となってプロジェクトを楽しみながら進め、学生らしい企画を行うこと。他人と協調できない方は適しません。		
教科書	著者:神田範明 書籍名『神田教授の商品企画ゼミナール』 出版社:日科技連出版 発行年:2013 価格:¥3,240		
参考文献及び指定図書	著者:神田範明, 小久保雄介 書籍名『失敗しない商品企画教えます:リアル事例で学ぶ最強ツールP7の使い方』 出版社:日科技連出版社 発行年:2019 価格:¥3,240		
関連科目	マーケティング論、統計学、社会調査法		

○基本情報	
授業の目的	地域課題を解決するための問題解決手法を学習します。 様々な企業で使われた商品企画七つ道具を学習しながらチームで実践を行い、地域を活性化するための企画を行っていただきます。(前期は定性調査を行う) 活動の中で、プレゼン作成能力、データ分析、チームワーク、アイデア発想能力などを身に付けていきます。
授業の概要	授業は主に講義パートと実践パートの2つになります。 講義パートは主に学生が予習を行い、作成した資料をもとに説明をしてもらいます、その後発表を受けての議論を行います。 実践パートは講義パートをもとに、チームで実習を行います。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	
実務経験のある教員による授業科目	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	商品企画についての興味、関心を持ち、積極的に授業に参加する。また、チームでの活動がしっかりできる。		20点	
【知識・理解】	商品企画についての知識が身についている。	10点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	チームでプレゼンテーションを作成し、発表することができる。その際にデータなどで論理的なプレゼンを行うことができる。		10点	20点
【思考・判断・創造】	様々な手法を用いて感動的な商品アイデアを作ることができる。		30点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
評価に用いるものは以下のものになります。 ①コメントペーパー…毎週の授業で提出してもらいます。感想、不明点、教員からの指示などを記入してもらいます。 ②学期末のプレゼン…チームで半期間の成果を提出してもらいます。また、作成中の活動状況も加味します。 ③試験…半期の内容を確認するために簡単な試験を行う。	

○その他	

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡA (SeminarⅡA) 小久保 雄介	授業コード	E002433
学修内容				
1. オリエンテーション ゼミナールの進め方、感動商品についての講義を行った後に自己紹介を行う。				
予習	自己紹介のプレゼンを作成する(5分程度)。			約2時間
復習	チームで扱うテーマについて考える、アンケートへの回答。			約2時間
2. チームビルディング・手法の概要説明 (担当が講義します) 商品企画七つ道具についての解説、商品企画とは何かなどを解説する。その後チームに分かれてチームビルディングを実施する。				
予習	他の人の自己紹介について振り返る。教科書P15～26を読む。			約1時間
復習	チームで扱うテーマについて確定する。事前情報を集める。			約2時間
3. (講義パート)ターゲットについて、フォト日記調査 商品のターゲット設定について、フォト日記調査の概要、ポイントについて講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。チームで日記調査のデータフォーマットを作成する。				
予習	教科書P15～40を読む。			約1時間
復習	チームの中で日記調査のデータを作成する。			約3時間
4. (講義パート)仮説発掘アンケート(実習パート)仮説発掘アンケート 仮説発掘アンケートの概要、ポイントについて講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。チームで仮説発掘アンケートを作成する				
予習	P41～46を読む。			約1時間
復習	チームの中で仮説発掘アンケートを作成する。			約3時間
5. (実習パート)手法1仮説発掘法 チームで行ったフォト日記調査、仮説発掘アンケートからアイデアを収集する。また、集めたものからアイデアのスクリーニングを行う。				
予習	仮説発掘アンケートを実施する。			約1時間
復習	スクリーニングしたアイデアを整理する。			約1時間
6. (講義パート)アイデア発想法 (焦点発想法、アナロジー発想法) (実習パート)焦点発想法 アイデア発想法の概要、焦点発想法、アナロジー発想法についての講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。チームで焦点発想法を行う。				
予習	教科書P47～58を読む。			約1時間
復習	焦点発想法でアイデアを創出する。			約2時間
7. (講義パート)ブレインライティング (実習パート)ブレインライティング、アナロジー発想法 ブレインライティングについての講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。チームでブレインライティングを行う。				
予習	教科書P62～67を読む。			約1時間
復習	今までのアイデアをリスト化しておく。			約2時間
8. (講義パート)各種アイデア発想法 (実習パート)アイデア選択法 その他のアイデア発想法、アイデア選択についての講義を行う。チームでアイデア選択を行う。				
予習	自分たちのテーマを評価するときどのような基準で評価をするか考える。			約1時間
復習	アイデア選択の結果をまとめ、簡略な説明を入れた資料を作る。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡA (SeminarⅡA) 小久保 雄介	授業コード	E002433
学修内容				
9. (講義パート)グループインタビュー(実習パート)インタビューのシナリオ作り グループインタビューの概要、ポイントについて講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。チームでインタビューのシナリオを作成する				
予習	教科書P65～77を読む。			約1時間
復習	インタビューに向けて練習を行う。			約2時間
10. (実習パート)グループインタビュー その1 作成したインタビューのシナリオをもとにインタビューを実施する。				
予習	インタビューのシナリオを練習を受けて修正する。			約1時間
復習	インタビュー結果のまとめを行う。			約2時間
11. (実習パート)グループインタビュー その2 作成したインタビューのシナリオをもとにインタビューを実施する。				
予習	他班のインタビューを受けてシナリオを修正する。			約1時間
復習	インタビュー結果のまとめを行う。			約2時間
12. (講義・実習パート)評価グリッド法 評価グリッド法の概要、ポイントについて講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。実習で評価グリッドを行う。				
予習	教科書P78～84を読む。			約1時間
復習	評価グリッドのまとめを行う。			約2時間
13. (実習パート)評価グリッド法 評価グリッド法を実際に行う。				
予習	評価グリッド法の復習を行う。			約1時間
復習	評価構造図の作成を行う。			約2時間
14. 前期のまとめ、プレゼン作成 前期のまとめの簡単な試験を行う。その後各チームでプレゼンに向けての打ち合わせを行う。				
予習	試験に向けての準備を行う。			約3時間
復習	次回の発表に向けてプレゼンの作成を行う。			約3時間
15. 前期のプレゼン 各チームで前期のまとめプレゼンを行う。				
予習	プレゼン資料の作成、練習を行う。			約3時間
復習	各班のプレゼンを見て自分たちの班の修正を行う。			約1時間
16.				
予習				
復習				